

# あぐりめ〜る新川

第39号(平成20年6月発行)  
富山県新川農林振興センター  
〒938-0801 黒部市荻生3200  
(TEL) 担い手支援課 (0765)52-0268  
(0765)52-5192  
農業普及課 (0765)52-0094  
(0765)52-0945  
(FAX) (0765)52-3115

## 大豆の雑草対策「一に培土」、「二に除草剤」

### 1 培土で大豆の生育を促進!

培土を確実に行うことで、大豆の生育が促進し、雑草の発生を抑えることができます。培土でできた溝と排水口は確実に連結して下さい。

#### 培土作業のポイント

- ・本葉2〜3葉期と4〜5葉期の2回培土
- ・株元までしっかりと培土
- ・培土後の溝と排水口を連結

株元まで確実に土をかける



水が流れるよう溝と排水口を連結する



### 2 除草剤の散布

培土後に雑草が発生したら、除草剤を散布します。大豆の生育と発生している雑草の種類をよく観察して除草剤を選択することが重要です。雑草は大豆より生育が早いので注意して下さい。

対象雑草	除草剤名	注意点
イネ科雑草	ナブ乳剤	イネ科雑草3〜5葉期まで散布する
	ポルトフロアブル	〃 3〜8葉期 〃
広葉雑草	大豆 バサグラン液剤	・大豆の開花後は使用しない ・大豆の頭上からの散布は避ける ・「オカ」のは場では、使用しない
イネ科雑草と 広葉雑草	ハービー液剤	・畦間処理 ・大豆にかからないよう注意する
	バスタ液剤	
	ラウンドアップ マックスロード	

使用前に農薬のラベルで使用基準を確認するとともに、他の作物に飛散しないよう、十分注意して散布して下さい。

# 新たな園芸有望品目の紹介

～新たな特産化を目指して～

農林振興センターでは、流通機関と連携し、消費者ニーズを先取りした新たな品目や作型について、生産から販売に至るまでの実証を行っています。今回はその中から、今後の需要拡大が期待される有望品目について紹介します。

## 1 つくりやすい100日タイプの「ミニゴボウ」

【品種】 サラダむすめ (タキイ)、てがる牛蒡 (柳川採種)

### (1) 品目の特徴

ミニゴボウとは、根長が35～45cmの短根の太ゴボウで、播種後100日程度で収穫できる超極早生の品種です。

深い耕土を必要とせず、作りやすく、香りや食味も良好で、特にサラダに最適です。ゴボウは比較的サルの被害も少なく、中山間地域でもおすすめの品目です。



### (2) 栽培の特徴

短根であるため、深い耕土は必要としませんが、砕土を丁寧に行い、高うねとすることで、品質の良いゴボウが収穫できます。但し、ゴボウは連作を嫌う代表的な作物であるため、一度作った畑では、5年以上ゴボウの作付けをしないようにしてください。

【作型】 播種：3月下旬～8月中旬 → 収穫：7月上旬～12月中旬

## 2 多様な辛さで夏バテ防止「トウガラシ」

【品種】 鷹の爪とうがらし：細型で深紅色、房状に上向き着果で熟期は一斉

エンジョイ：メキシコ料理に使われ、25gの生果で収穫する

甘とう美人：「万願寺トウガラシ」タイプで、果肉が厚く肉質柔らかい

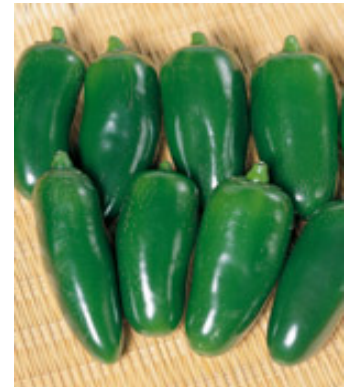
### (1) 品目の特徴

近年、トウガラシが人気を集めており、辛いものから甘いものまで多様な品種があり、観賞用にもできるなど機能性も高い品目です。

### (2) 栽培の特徴

栽培管理はピーマンと同じ。支柱やネットで倒伏防止に努める。

【作型】 定植：4月下旬～5月下旬 → 収穫：6月下旬～10月上旬



## 3 多彩な用途が期待される「切り花ハボタン」

【品種】 白：晴姿 赤：初紅

### (1) 品目の特徴

ヨーロッパ原産のアブラナ科1・2年草。紅・白の色彩から、正月を彩る花材として発達してきましたが、最近では、桃系、日の丸系の花色が追加され、フラワーアレンジメントにも利用されるようになりました。

### (2) 栽培の特徴

水稻育苗跡ハウスを利用して、栽培が可能です。発色を促すため10月中旬から低温に遭遇させます。

【作型】 播種7月中旬一定植8月上旬→収穫12月中～下旬



# 主穀作経営情報（経営体の資金繰りをチェックしましょう。）

## 1 月別資金繰り表の作成で、資金の状態を把握しましょう。

主穀作経営では、農産物の販売代金などを受取る前に材料費などの支払い時期を迎えるため、資金繰りが厳しくなる時期があります。

これを予測するためには、過去の収支実績を基に月別資金繰り表を作成し、現・預金の動態を把握しておくことが大切です。

表 月次別資金繰り表の例

区分		19年実績	20年1月	20年2月	20年3月	20年10月	20年11月	20年12月	年計	
運	原材料費									
	種苗費など									
	小計									
	用	農機具費								
		修理費								
		小計								
	雇用労働費									
	販売及び管理費									
	償還金・支払利息									
	借地料									
その他										
調	公租公課									
	賦課金									
	小計									
	家族労働費									
	家計費									
	運用計									
	売上									
	水稲売上など									
	小計									
	雑収入(助成金等)									
調達計										
差引										

また、昨年より新たに水田経営所得安定対策が実施され、交付金等の入金時期がこれまでとは違ってきています。平成20年度のこの対策に係る交付金の交付金等の入金時期の目安は下表のとおりです。

月別資金繰り表は、施策の変化による収支への影響なども予測でき、資材等の決済や農業機械等投資への支出など経営計画が立て易くなるので、ぜひ作成してみてください。

表 水田経営所得安定対策関係交付金の入金時期の目安

20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年3月	2月	3月
		収入減少補てん交付金(19年産)	固定払交付金				成績払い交付金(大麦)			成績払い交付金(大豆)	

## 2 円滑な資金繰りに活用できる制度資金

認定農業者が運転資金に活用できる制度資金として、スーパーS資金があります。資金繰り計画を作成し必要な場合は、活用を検討下さい。

対象者	認定農業者			
資金使途	農業経営改善計画の達成に必要な短期運転資金			
貸付形式	極度貸付方式による当座貸越・手形貸付、または証書貸付			
極度額	個人		法人	
	一般経営	畜産経営・施設園芸	一般経営	畜産経営・施設園芸
	5百万円以内	2千万円以内	2千万円以内	8千万円以内
利用期間	農業経営改善計画期間中			
金利	1.90%(平成20年6月現在)			

制度資金の詳しい内容については、農林振興センター担い手支援課（0765-52-0268）または最寄りのJAまでお問い合わせください。

# 農薬飛散防止とエコファーマー制度の紹介

## 1 農薬の適正使用と飛散防止対策

- ①ラベルに書かれている適用作物、使用時期、使用濃度等を守る。
- ②住宅地等が近くにあるときは、農薬が飛散しないよう注意して散布する。
- ③風のない時に散布するなど、他の作物にかからないよう注意する（ポジティブリスト制度）。
- ④散布後はホースやタンク等の防除機材を良く洗う。

## 2 環境にやさしい農業に取り組みエコファーマーの認定を受けよう

(エコファーマーのロゴマーク)



エコファーマー制度は、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づく制度で、堆肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬の使用の低減を一体的に行う環境にやさしい農業に取り組む農業者（個人又は法人）を県が認定し支援する制度です。管内では、平成20年5月現在で142経営体（米・野菜・果樹・花き）がエコファーマーに認定されています。

エコファーマーの認定を積極的に受け、環境にやさしい農業を推進しましょう。エコファーマーの認定については、農林振興センターへお問い合わせ下さい。

また、これまでに認定を受け5年間経った方は、再認定を受ける必要があります。

(お知らせ) 再認定の申請は、11月以降に一括して行いますので、再認定を希望される方は、それまでに土壌分析等を実施しておいて下さい。

### 新川農林振興センターの新組織体制……よろしくお願ひします

農林業施策のソフト・ハード両面を一体的に推進するため、農業普及指導センターと農地林務事務所を統合し「新川農林振興センター」が平成20年度からスタートしました。

庁舎	普及担当課・班	主な普及指導業務
魚津総合庁舎	企画振興課 TEL 22-9136	普及指導活動とハード事業の調整、地産地消及び食育の企画・推進等
黒部庁舎	担い手支援課	新規就農や農業経営改善の支援、農村女性対策の推進等
	TEL52-0268	
	52-5192	園芸振興班 園芸の技術指導、経営の複合化、園芸の担い手育成等
TEL52-0094	農業普及課	主穀作の技術指導、認定農業者や集落営農組織の育成等
	52-0945	
	入善朝日班 魚津黒部班	

※黒部庁舎（普及部門）の所在地び所管区域は従前どおりです。

なお、畜産関係の普及指導は広域普及指導センター(富山市)に一元的に集約されました。

○ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/branches/1630/1671/1671.htm>

水稻の管理情報（5～9月）・気象情報等を携帯電話へ「メール情報」として提供しています。

メールを希望の方は、件名にメール情報希望と記載し、E-mail:nobuaki.murasaki@pref.toyama.lg.jp へメールを送信して下さい。